



TITLE:

格子欠陥(サブゼミ,第24回物性若手
「夏の学校」開催後記)

AUTHOR(S):

前田, 裕司; 大橋, 一利; 金沢; 趙

CITATION:

前田, 裕司 ...[et al]. 格子欠陥(サブゼミ,第24回物性若手「夏の学校」開催後記). 物性研究 1979, 33(3): 142-142

ISSUE DATE:

1979-12-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/89879>

RIGHT:

名古屋大学物性若手グループ

サブゼミ

「 格 子 欠 陥 」

講師 前 田 裕 司

大 橋 一 利

前田先生には照射損傷における格子間原子の位置及び回復機構解明に強力な実験手段となるX線散漫散乱(主に Huang 散乱)の実験と理論について解説していただいた。原研の実験施設のスライドを混じえて論文にはない詳細な実験手法まで述べられ大変有意義であった。

大橋先生には主に転移における変位とその比熱への効果をグリーン関数を用いて論じられ、とかく複雑なこの分野に明解な解説をしていただいた。その他不純物振動についても論じられ、メスバウワー効果の実験との対比は興味深いものであった。

(文責:東大工 金沢, 趙)

サブゼミ - 光物性

講師 電総研 住 齊

世話人 東北大 福 地 進

見 方 裕 一

「有機分子性結晶における励起子」の題で住先生に都合5時間程講義をして頂き、「強磁場、高密度励起子系におけるAgBrの発光」の題で理研の馬場哲也氏に1時間半程研究発表をして頂いた。住氏は、運動による吸収線の先鋭化現象(Motional Narrowing: MN)の理解を目的とされ、有機分子性結晶においては励起子バンド巾が無機分子結晶のそれより狭く、MNが中間的様相を呈することを示された。講義題目は次の通りである。

第I部 Vibronic 励起子

(I-1) 有機分子性結晶励起子の位置付け